

日時：令和6年7月19日（金）午前10時00分～

場所：岡崎市図書館交流プラザ「リぶら」ホール

誓いの言葉

1945年7月20日未明、岡崎市に突如として空襲警報のサイレンが鳴り響きました。120機あまりのB-29爆撃機が、1万2千発を超える焼夷弾^{しょういだん}を投下したのです。1時間にわたるこの空襲は、約280人の尊い命が失われた空襲として、後に岡崎空襲と呼ばれるようになりました。大切な人が亡くなったと知ったとき、その家族は、友人は、恋人は、どんな気持ちだったのでしょうか。きっと、この世に戦争がなければ、もっと一緒にいられたのにと考えたのではないのでしょうか。同じ時を過ごす、そんな当たり前の日常を奪い去った戦争に対し、深い悲しみや苦しみ、そして憎しみの心を生んだのではないかと思います。

現在、世界では紛争や情勢の悪化による争いが、ニュース番組などで連日放送されています。そして、その争いによって、毎日多くの方が犠牲になっています。それらの争いとは無関係な人々が傷つく世界は、平和だとは言えないと思います。

しかし、日本は「もう戦争はしない」と決めて復興し、争いのない国に生まれ変わりました。日本のように、全ての国々が「戦争をしない」と固く誓い、争いが無くなって初めて、平和な世界は実現すると思います。

岡崎空襲から79年経った今、岡崎の町は、人々の活気に満ち溢れ、平和で豊かな町になりました。この町で、家族が笑いあい、友達と学校へ行き、公園で遊ぶ。何気ない毎日の中で、様々な人と会う。そんな幸せな日常があります。

先人から託された、この緑美しい街、岡崎を二度と失わないように、そして日本が再び戦争の惨禍を起こすことのないように、私たちは平和を強く願い、その大切さを未来に繋いでいくことを誓います。